

キャリアアップ第3回ディベート

2012年5月9日

テーマ：「原子力発電所を再稼動する。賛成 or 反対」

分担

- ・進行：天野
- ・書記：小田
- ・肯定派：松川、小松、谷川
- ・否定派：谷、宮崎、熊野
- ・ジャッジ：中田、中川

肯定側立論

- ・原発が停止していることにより、今夏の電力不足が懸念される。
(特に関西電力では原子力発電への依存が大きかったため、節電を行ったとしても2010年並みの猛暑だった場合、約16.3%もの電力不足に陥る。)
- ・電力が不足すると計画停電を行う可能性もあり、経済への負担も大きくなる。
(オフィスや工場などに影響、観光の減少など)
- ・また、経済への影響だけでなく病院などの(人命に関わる)施設への影響や、猛暑でもクーラーなどを制限しなくてはいけない状況なども考えられ、人の健康への被害が出る可能性も十分にある。
- ・原発再稼動による安全面への不安はあるかもしれないが、今回の福島原発事故に関していえば早期の対応に誤り(海水投入の遅れなど)があったためここまで被害が拡大したのであり、本来は安全が確立されている。(多重防護の考え)

否定派から肯定への質疑応答

- ・計画停電を行うと経済への影響や病院などの施設への負担が大きいと言っていたがそういうところには常に送電するようにすればいいのでは??
→病院関係者へのインタビューで「現状では厳しい」と言っていたので無理だと思う。
- ・比較的電力に余剰がある中部・中国電力から電気を送電してもらい、節電対策も行えば今夏は乗り切れるというデータが出ているがどうですか??
→送電が可能になれば乗り切れるかもしれないが、ぎりぎりの電力で乗り切ろうとするのが危険。(なにかトラブルがあった時対応できない)
- ・原発の安全性について今現在全てに対する安全対策ができていないのに稼動してもいいのか??

→安全対策においては多重防護の考えのもと今現在すでに確立されており、先ほども述べた通り、今回の被害拡大の原因は人の対応の遅さという人為的なものであった。

否定側立論

・東日本大震災で起こった福島原発事故に対して日本政府は情報の隠蔽をしており、再稼動した際の情報提供や対策についての信頼性に欠ける。

(過去の原発についての不祥事も隠蔽していた事実あり。)

・そもそも日本は地震大国であり、原発の稼動に対し不安要素が多い。

(欧米では日本で地震があると原発についても報道されており、世界的に見ても不安要素となっている。)

・また、原発事故が起こった時の莫大な賠償金を払うことは難しく責任がとれない。

・将来的に電力の発電は自然エネルギー(再生可能エネルギー)によってまかなわれるべきであり、原子力発電は発電技術開発期間のつなぎでしかないので固執する必要がない。

(地熱発電などに積極的に取り組むことにより原発への依存を回避できる。)

・原子力発電では放射性廃棄物の処理問題もある。

(現在、ガラスで固めて地下深くに埋め、地層処理を行っているがこの処理方法は100%安全なわけではない。)

・安全を確保できていないのに原発を再稼動するのはよくない。

肯定派から否定派への質疑応答

・東電、政府の対応の悪さから信頼がないと言っているが私達はその点は改善可能だと思っているがそれは不可能なのか??

→人為的なものに100%はなく、信頼できない。

・電力不足に関して現行の発電で乗り切れると言っているが、現在火力発電所でも問題が起こっており、ギリギリの状態だがそれに対してはどう考えている??

→原子力発電に使っていたお金を他の発電所のために利用し、どうにかする。

・地熱発電については開発できる場所が限られていると思うが普及させていけるのか??

→再生可能エネルギーは地熱だけではないので、1種類の発電方法だけを行うのではなく、潮汐発電や風力発電など様々な種類を組み合わせで発電する。

否定派反駁

・地熱発電についての質問を受けたが、一例として挙げたに過ぎず、原発に対して使われていたお金を利用すれば再生可能エネルギーの開発が進む。

・今夏の電力不足は乗り切れるというデータを確認している。

・今回の事故は人為的なものが原因で安全は確立されているといていたが、私達は人為的な事故を100%防ぐことは不可能と考える。

- ・計画停電による被害より原発事故による被害の方が圧倒的に大きく、それを考えると再稼働させるべきではない。

肯定派反駁

- ・将来的に再生可能エネルギー発電を普及させると言っていたが、再生可能エネルギーを利用した発電は全般に技術的な面の課題に加え、開発地の制限があり、今すぐ普及させるのは難しい。普及が10年20年後になってしまうと現在の電力不足を補うのには間に合わない。

- ・今夏の電力不足は原発の再稼働無しでも乗り切れると言っていたが、それは火力発電所をフル稼働させているのが前提であり、フル稼働させることにより発電所の点検回数が減少したりする可能性があり、火力発電所への負担が増加する。

(火力発電所でも問題が起こる可能性が高くなるのに加え火力発電所で問題が発生すると電力不足を補うことが不可能になる。)

- ・このようなことを考えると早急な対策としては原発の再稼働しか考えられない。

ジャッジ

- ・再生可能エネルギーに関しては現状では問題点もあるが、過去の原発不具合の隠蔽による信頼性の低下、関西広域連合のデータにより今夏の電力不足は乗り切れるという結果が出ているというのが強い根拠になっており否定側の勝利。

アドバイス・・・賛成側は病院についてなどもう少し裏が取れていたらよかった。